

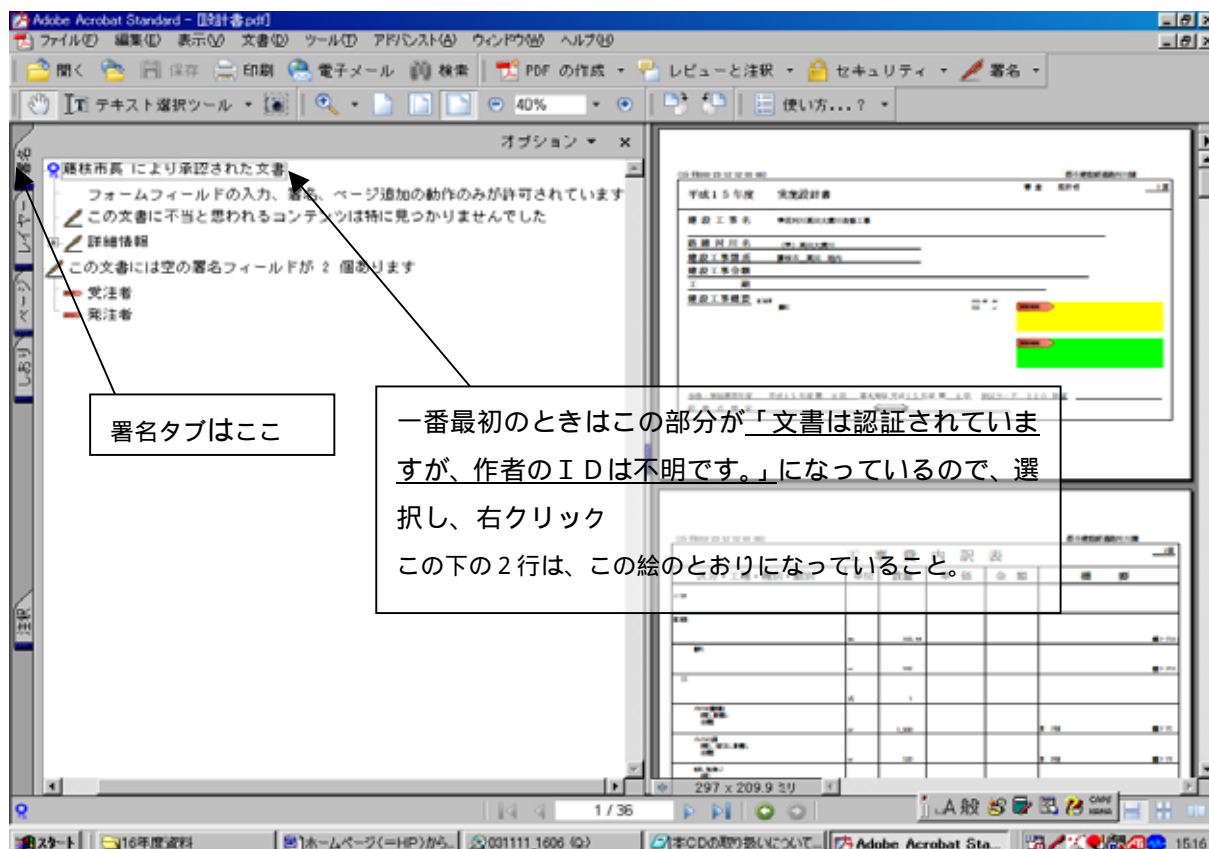
## 取得した設計書.pdf ファイルなどの正当性の確認と証明書の取り込みについて

### 第1 ファイルの解凍（ホームページ(=HP)から取得した場合）

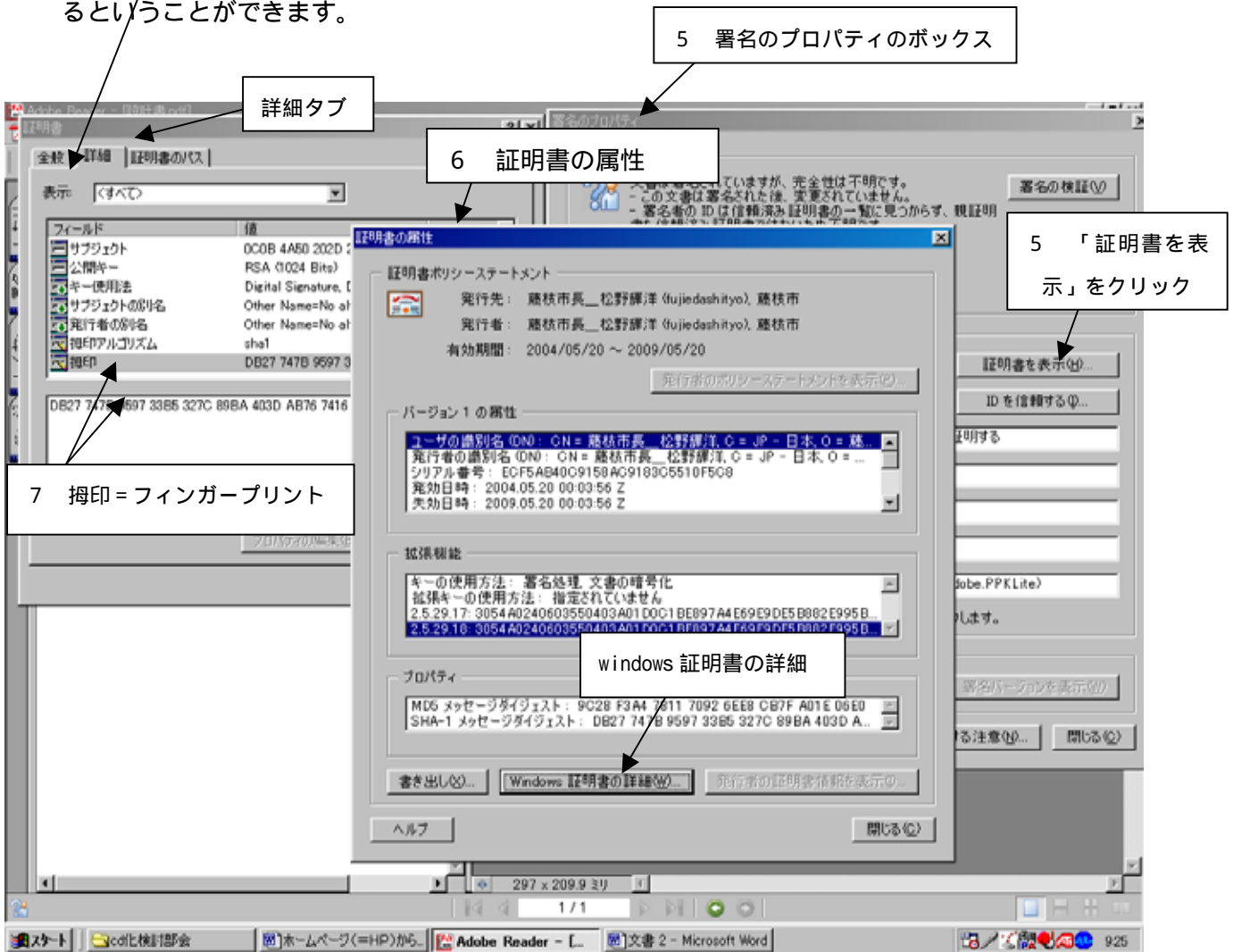
- 1 HP上のファイルは、パスワードをかけてZIP形式で圧縮してあるので、解凍に必要なソフトウェアをインターネットの「窓の杜」や「VECTOR」などのサイトからあらかじめ入手し、お使いのパソコンにインストールして（組み込んで）ください。
- 2 HPからDLしたファイルを解凍します。このとき、パスワードが要求されるのでパスワードを入力してください。（大文字・小文字も区別されるので注意してください。）
- 3 解凍されると原則として「設計図.pdf」、「設計書.pdf」と「このフォルダのファイルの取り扱いについて」という3つのファイルができます。大規模な工事の場合には、設計図が意匠図、構造図などに分類されることなどもあります。

### 第2 ファイルの正当性の確認

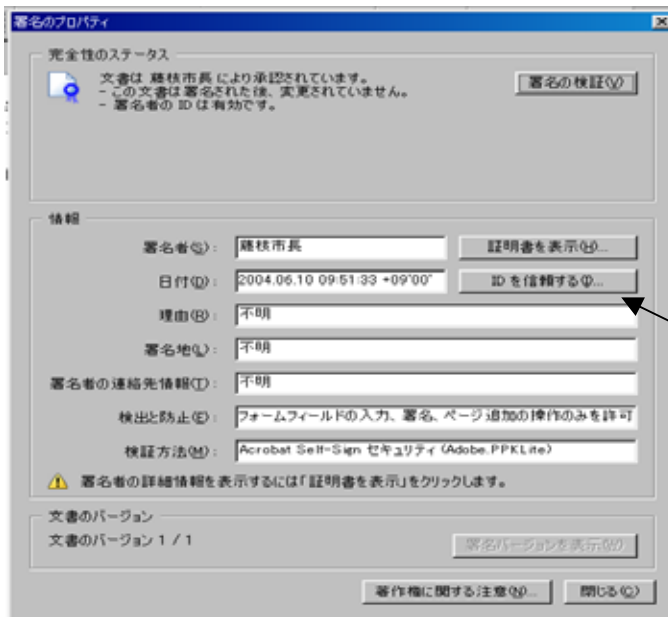
- 1 「設計書.pdf」又は「設計図.pdf」ファイルを Adobe Acrobat6.0 又は Adobe Reader で開きます。
- 2 これらのファイルには発注用デジタルIDで目に見えない電子署名がされており、署名フィールドへの署名以外の変更をすることができません。
- 3 文書を開いたときに[文書ステータス]のダイアログボックスが開けば、その中の[署名のプロパティ]をクリックします。 **下記5番へ**。ダイアログボックスが開かなかったときや閉じてしまったときは、アクロバットのウインドウの左側の[署名]タブをクリックします。
- 4 [署名のメニュー]-[文書は認証されていますが、作者のIDは不明です。]を選択-[右クリック]-[プロパティ]をクリック。



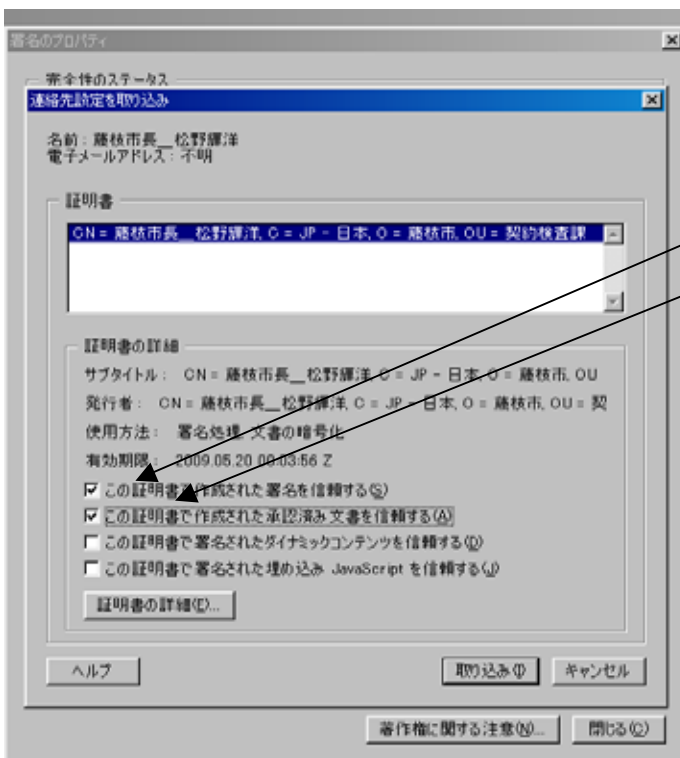
- 5 [署名のプロパティ]のダイアログボックスが開きます。[証明書を表示]をクリック
- 6 [証明書の属性]ダイアログボックスが開きます。その一番下の[windows 証明書の詳細]をクリック
- 7 [証明書]のダイアログボックスが開きます。[詳細]タブをクリック、一番下の「拇印」の40桁の英数字を、市役所からFAXで通知されたフィンガープリント(FP=拇印)と比較(英文字の大文字・小文字は区別しない。)します。同一であれば、その設計書は、藤枝市が作成したものであるということが出来ます。



### 第3 証明書のPCへの取り込み



- 1 上記第2の3で出てきた[署名タブ]をクリックします。
- 2 [署名のメニュー]-[文書は認証されていますが、作者のIDは不明です。]を選択-[右クリック]-[プロパティ]をクリック
- 3 [署名のプロパティ]のダイアログボックスで「IDを信頼する」をクリック
- 4 続いて「お奨めできません。」というメッセージがでますが、構わず[OK]をクリックします。



- 5 [連絡先設定を取り込み]のダイアログボックスが開くので「この証明書で作成された署名を信頼する」「この証明書で作成された承認済み文書を信頼する」の2箇所にチェックを入れて、[取り込み]をクリック
- 6 証明書が取り込まれましたというダイアログボックスができれば完了です。

7 再度署名を検証すると、「文書は認証されていますが、作者のIDは不明です」が「藤枝市長により認証されています」との表示にかわります。

8 その後の操作

発注用デジタルIDで作成した証明書を一度取り込んでおけば、2回目からは1から6までの作業は省略できます。署名の検証のみ実施してください。

発注用デジタルIDは、2年ごと更新する予定です。